

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト14>連産品

<問題>

当社では、連産品であるX・Y製品を生産している。各製品は分離点以後に追加加工を行いAX・AY製品として販売している。次の資料に基づいて以下の問いに答えなさい。なお、分離点と完成品における各製品の物量に変化はないものとする。

<問1>

- ①物量基準での連結原価配賦額を答えなさい
- ②見積正味実現可能価額（NRV）を基準として連結原価を各製品に配賦し、各製品の連結原価配賦額、完成品総合原価および完成品単位原価を計算しなさい。
- ③修正NRV法による連結原価配賦額を計算しなさい。なお、売上総利益率（%）は端数を維持したまま計算する事（なお、個別加工費は実際額を使用すること）

<資料（問1、問2共通）>

(1)各製品の生産量と単位当たり市場価格

	生産量（単位：kg）	市場価格（単価）
製品AX	3,000	@600
製品AY	2,000	@300

(2)連結原価と分離後の見積・実際個別加工費

連結原価
1,105,000

	見積個別加工費	実際個別加工費
製品AX	@50円	@55円
製品AY	@20円	@20円

<答案>

<問1>①

X製品	
Y製品	

<問1>②

	連結原価配賦額	完成品総合原価	完成品単位原価
AX製品			
AY製品			

<問2>

X製品	
Y製品	